



冷たい風と共に舞う雪に、大喜びの子どもたちですが、春の訪れが待ち遠しい季節となりました。今年度もあと1ヵ月となり、子どもたちと1年を振り返りながら一人一人の成長を認め、喜び合いながら、就学や進級への期待を高めていきたいと思ひます。

保護者の皆様には、沢山のご理解とご協力を頂きましたこと、職員一同心よりお礼申し上げます。来年度も子どもたちが笑顔で過ごせるよう保育して参ります。

### 【3月の予定】

- 2日(水)10日・16日(木)学びタイム(5歳児)
- 3日(木)ひな祭り誕生会
- 4日・11日(金)体操教室(3・4・5歳児)
- 15日(火)お別れ会
- 19日(土)卒園式(5歳児)
- 23日(水)お楽しみ会(5歳児)
- 24日(木)避難訓練
- 25日(金)修了式

※27日～4月2日 1号認定春季休暇

<令和4年度>

### 【4月の予定】

- 1日(金)進級式
- 2日(土)入園式

～新年度の書類について～

- ①家庭状況調査票、②予防接種のアンケート
  - ③災害時園児引き渡しカード ④個人情報同意書
- 上記の書類をお渡しますので、**3月11日(金)**までに封筒に入れて提出をお願い致します。

●**来年度に延長保育、土曜保育を必要とされる方は、再度申し込みが必要となりますので、同じ期間に申し込みをお願い致します。**

申し込み用紙は事務所前にあります。

\*各書類の記入の際、お子さんのクラス名は令和4年度(次年度)のクラス名で記入して頂くようお願い致します。



### お知らせ

・25日(金)の修了式では、1年間の作品集と修了証書をお渡し致します。記名した紙袋をお持ち下さい。

・28日(月)から各クラス保育室の移動をし、新しい保育室で過ごします。25日(金)は全ての荷物の持ち帰りを宜しくお願い致します。らいおん組さんはひよこ組保育室で過ごします。登園時の荷物はホールのカバン掛けをお願いします。又、着替えを1組リュックの中に入れて登園して下さい。下駄箱は玄関となります。

・3月19日(土)に令和3年度卒園式を行います。いつも保育室から元気な声が溢れ、小さいお友達に優しくしてくれたらいおん組さん。今年度は、21名の子どもたちがこども園を巣立っていきます。当日は、一人一人が笑顔で卒園を迎えられるよう努めて参ります。

ご家庭で出来る

## 「非認知能力」

を育てる遊び

### 「まねっこ」「お手伝い」をあそびに

言葉やしぐさなど、思わぬところを真似されて、驚いたり笑ったりしたことはありませんか。大人が教えるつもりもなかったことを、子どもが真似て学んでいる、その見事な学習能力には驚かされるばかりです。その背景には、大人のようにになりたいというあこがれの気持ちがあります。一緒のことをする喜びを大人も満喫していると、成長したいという子どもの意欲も高まります。

・トモコロシやタマネギの皮むきなど、ちょっとしたお手伝いをしてもらうと、本当に家事も楽になります。

・お風呂掃除は、水あそびと似ているせいか、子どもが楽しみながらできるお手伝いのひとつです。

・ぞうきんでの拭き掃除もいいですね。ぜひ、拭き掃除を手伝ってもらいつつ、絞り方など教えてあげてください。握力もつきますよ！

どんな意味があるの？

「じぶんで!」「いやー!」が多い時期、子どもは生活の主役としてがんばろうとしているのです。身近自立も子どもがやりやすいように帽子やカバンを手の届く位置に置くなど、小さな工夫が、子どもの自己肯定感を高めていきます。



### コミュニケーションの大切さ

人が生きていくうえで、コミュニケーション力はとても大切な能力となります。コミュニケーション力を養うためには、赤ちゃんの時から、人との関わりの楽しさを実感することが重要です。赤ちゃんは、自分の思いに温かく、共感的に接してくれる他者との関わりを通して思いやりや協働する力といった非認知能力であるコミュニケーション力の根っこを育てていくのです。

1年を通して、様々な遊びを紹介してきました。

子どもの個性やタイプは様々です。紹介した遊びの通りに遊ばなくても、子どもの好きなあそびがあれば、そこから興味・関心の世界は広がっていきます。ぜひ、それぞれの子どもに合った遊びを探してみてください。子どもがワクワクして、楽しく没頭できるあそびがあることが重要なのです。あっという間に終わってしまうかけがえのない乳幼児期時代。その時代を親子の幸せな時間にしていただければと思います。

※参考文献「非認知能力を育てるあそびのレシピ」

# 2月の子ども達の姿

毎月2クラスずつ紹介していきます。

## いす組

●冬の自然に触れて遊ぶことを楽しむ。

(2月のねらいより)

今月は戸外に限らず、室内でも雪遊びができるよう、活動を設定しました。雪の冷たさや遊びを楽しめるよう、保育教諭も遊びながら、一緒に雪に触れ、冬ならではの遊びを十分に楽しめるようにしました。



雪をすくって、お弁当を作ったり、かき氷屋さんやアイス屋さんごっこを楽しんでいましたよ。

室内でも雪遊びができるよう、お皿の上に雪を用意し、一人一人が楽しめるよう、設定しました。



「つめた〜い!」「もっと雪ほしい!」等、たくさんお話をしながら遊ぶ姿が微笑ましかったです。



## ぞう組

●イメージを形にしたり、店員になりきり、やり取りすることを楽しむ。

(2月のねらいより)

お店屋さんごっこに向けての取り組みの中で、生活経験をもとにしながら、“本物のラーメンみたいにするにはどうしたらよいか”や、“店員さんはどんな挨拶をしているか”等を皆で考え、楽しみながら取り組む姿が見られていました。

「いらっしゃいませ〜!」  
「どれにしますか?」  
「これください!」  
と、やりとりを楽しんでいました。



看板にラーメンを描く時には、みんなで作ったラーメンを近くに置き、それを見ながら頑張って描いていましたよ。



トッピングのネギは、切ったあと、なるべく本物に近い形になるように、指先を使って膨らませています。

